東京大学宇宙線研究所　共同利用研究発表会

ダブルハイパー核実験用原子核乾板の神岡地下施設の鉛ブロック内での保管

岐阜大学教育学研究科

仲澤研究室　大橋正樹

 ダブルハイパー核探査のJ-PARC E07実験では、ビーム照射の延期が続く中で、宇宙線やガンマ線起因のコンプトン電子によるバックグラウンド飛跡の蓄積の抑制を目的に、乾板を神岡坑内の鉛ブロック中で保管した。2017年6月末にすべての乾板の照射を終え、現在、現像と探査を並行して進めており、ハイパー核候補も検出され始めた。2018年2月には現像が終了し、Lab-Bを片付けられる予定である。長期に利用させていただき、深く感謝いたします。